

那覇空港の総合的な調査
平成17年度の実施内容(案)

(1) 既存ストックの有効活用方策の検討

旧ターミナル地区を含めたターミナル地区全体整備のあり方検討

- ・ターミナル地区の施設配置案作成(大阪航空局)
地域特性を考慮したエプロン、旅客、貨物等ターミナル施設の配置の概略案を作成する。
- ・ターミナル地区の整備に向けた課題及び対応方策の検討(沖縄県)
前年度とりまとめた航空利用者のサービス水準の向上を図るための方策について、課題を整理し対応策の検討を行う。

施設や運用の改善による空港能力向上方策の検討

- ・空港能力を制約する課題の対応方策(大阪航空局)
16年度に検討した有効活用方策により処理能力向上効果を検証する。

(2) 抜本的な空港能力向上方策の検討

航空利用特性の分析と将来需要予測の検討

- ・地域特性を考慮した需要予測手法の検討(沖縄総合事務局)
地域・航空利用者特性を考慮した那覇空港の将来需要予測を実施し、月別・時間帯別旅客の推算を行うとともに、将来の航空機動向を踏まえた大型化、小型多頻度化等の機材構成の検討を行う。

地域における空港の役割と効果、住民意識等の把握

- ・那覇空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討(県)
那覇空港の果たすべき役割・将来像と空港能力の制約による影響等について検討する。

(3) 既存ストックの有効活用方策、抜本的な空港能力向上方策の検討の共通項目

空港能力の考え方の整理

- ・空港能力の評価指標の検討(沖縄総合事務局)
航空需要の増加に伴い低下する航空サービスの程度を把握するとともに、那覇空港の航空サービス指標の評価基準を設定する。

空港能力の見極め

- ・空港能力の見極め(沖縄総合事務局、大阪航空局)
空港能力の向上効果、将来需要予測、航空サービス指標をそれぞれ関連づけて空港能力の見極めを行う。